

6月26日（水）、1年4組で国語科の努力点公開授業が行われました。単元は「こんなことがあったよ」です。出来事や経験を思い出し、進んで絵日記を書くことが目標です。今回は、水泳学習のときのことを絵日記にかくためのメモを書きます。そのために、教師が前もってモデル文となる絵日記を教室に掲示しておきました。

教師が「先生の日記を読みましたか」と投げ掛けました。すると、多くの児童が「読んだ」と答えました。教師が、「どんなことが書いてあったかな」と尋ねると、「地獄のシャワー」と言いました。「びっくりしたんだよね」と、教師の気持ちについても答える児童がいました。そこで、教師が、「先生はその話をしていないのに、みんなは知っていますね。絵日記をかくと、読んだ人に伝わるのですね」と伝え、絵日記をかくことのよさを児童に気付かせながら、「かきたい」という意欲を高めました。

ここで、パペット「ウインク」が登場します。教師とウインクが水泳学習についての会話をしました。その後、教師が、「ウインクは何をしたと言っていたかな」と投げ掛けると、「顔を水につけた」と児童が答えました。「メモは、言っていたことをそのまま書きます」と言って、黒板に「顔を水につけた」と書きました。「どんな気持ちだったと言っていましたか」と投げ掛けると、「ときどきしたけど、気持ちよかった」と児童が答えました。そして、教師がそのまま黒板に書きました。「メモが書けたら、日記も簡単に書けますので、みんなも話をしてメモを作りましょう」と伝えました。



【教師とウインクが話す様子】

次に、全体で、水泳学習でしたことを確認しました。児童からは、「まねっこ」「ブクブクパー」などが出ました。そのときの気持ちを聞くと、「冷蔵庫に入ったみたい」「大変だったけど楽しかった」などの答えが聞かれました。その後、グループで水泳学習について話しました。始めの言葉を「プールに行ったよ」に統一したことで、次の友達が「何をしたの」「どうだった」と尋ねやすくなり、話が弾みました。



【グループで話をする児童】

最後に、話したことをメモに書きました。自分が何を話したかを、グループの友達にも聞きながら、メモを書くようにしました。すると、児童は進んでメモを書くことができました。グループの友達も、「気持ちをもう一つ書いてみたら」「さっきは、『楽しかった』って言っていたよ」と、一緒に考えることができました。このように、一人では覚えていられないことも、グループなら誰かが覚えていてくれます。友達と協力してできたメモは、1年生とは思えないくらい、しっかり書くことができました。次時は、メモを文章にします。どんな絵日記が出来上がるのかが楽しみです。



【協力してメモを書く様子】